

2009 ドイツセミナーの内容及び日程

*天候、会場の都合などによる内容・日程・場所に変更が生じる場合があります。

“序曲” (5月22日<金>) 尾西生涯学習センター 午後7時～9時

● 「Geselliger Abend - 交流会」 (ゲストスピーカー：2名)

二人のドイツ人のゲストスピーカーを迎え、講師を含め3人のドイツ人と楽しく交流をします。ドイツの音楽のギター演奏、楽しいゲームで参加者と交流します。

第一回 (6月6日<土>) 尾西生涯学習センター 午前10時～12時

● テーマ：「ドイツの事情」

本「ドイツは過去とどう向き合ってきたか」を使って、「なぜドイツに興味があるか」というテーマで皆さんのドイツに対する関心と今までのドイツの経験を気楽にディスカッションします。最後に、講師がパワーポイントで簡単にドイツの事情を紹介します。

第二回 (6月20日<土>) 尾西生涯学習センター 午前10時～12時

● テーマ：「二つの国家—一つの民族？ドイツで暮らしている人々」

約40年間ドイツという地域に二つの国家が冷戦のシンボルとして存在しました。ドイツは1990年に再統一しましたが、文化や思想の違いがまだ残っています。その上、トルコ人の人口は毎日増えている、また、日本と同じようにドイツは少子化と高齢化を経験しています。日本の現況と比べ、この様々な問題とチャンスについてディスカッションします。

第三回 (7月4日<土>) 尾西生涯学習センター 午前10時～12時

● テーマ：「ドイツの学校と若者文化」

日本の学校は全日制がほとんどですが、ドイツでの学校が午後1時に終わります。また、ドイツの学校はクラブ活動がありません。日本とドイツの若者の一日はちょっと違っていると言えます。ドイツの高等学校と大学の制度の変更は、若者文化への影響が強いです。また、ドイツでは日本の漫画、アニメ、ビデオゲームが大人気のあるため、日本とドイツの若者の遊びは共通点が多いかもしれません。こうしたドイツと日本の相違点についてディスカッションします。

第四回 (7月18日<土>) 滋賀農業公園ブルーメの丘 午前9時～17時

● テーマ：「ドイツの娯楽文化—音楽と料理」 (バスを使っての体験実習)

ドイツはパンとソーセージ王国というイメージがあるようです。最終日は、教室を離れ、ドイツの現代音楽を聞きながら、バスでブルーメの丘 (滋賀県蒲生郡日野町) まで行き、そこでソーセージの手作りの体験実習を行い、ドイツの食文化とポピュラー音楽についてディスカッションします。